



## 平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場会社名 北海道コカ・コーラボトリング株式会社  
 コード番号 2573 URL <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢吹 健次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部担当 (氏名) 前田 則彦  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

TEL 011-888-2051

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	11,730	△0.1	△417	—	△406	—	△407	—
24年12月期第1四半期	11,747	1.2	△522	—	△473	—	△492	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 △382百万円 (—%) 24年12月期第1四半期 △487百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	△11.15	—
24年12月期第1四半期	△13.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	46,417	37,363	80.5
24年12月期	46,047	37,965	82.4

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 37,363百万円 24年12月期 37,965百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,300	0.0	1,000	98.5	980	55.7	500	△30.8	13.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	38,034,493 株	24年12月期	38,034,493 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	1,501,251 株	24年12月期	1,500,576 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	36,533,379 株	24年12月期1Q	36,536,375 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記の業績予想に関する事項につきましては、添付資料の2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年3月31日）におけるわが国経済は、政府が推進するアベノミクスと呼ばれる金融緩和と政策など一連の経済政策を受けて、円安と株価上昇が進んでおり、海外経済の減速の懸念も残るものの、全体としては回復基調にありました。

しかしながら、清涼飲料業界では、ビール系メーカーが飽和状態にあるアルコール市場から清涼飲料市場へシフトし、生産及び販売体制を再構築する方針を打ち出すなど、厳しい市場環境が続きました。

このような状況のなかで、当社グループは、既存市場において、重点商品の売り場獲得に向けた取り組みを継続して実施し、シェアの拡大をはかるとともに、セールス拡大の余地があるホテル、レストラン、カフェ等のサービス業種への営業活動の強化をはかりました。また、自動販売機事業においては、主要都市では屋内ロケーションへの新規設置強化に注力するとともに、地方都市では競合の自動販売機設置箇所を奪取しシェアを高める活動に注力し、収益の改善をはかりました。さらに、同一店舗内での売り場拡大による販売促進をはかり、レジ前やパン・惣菜売り場の近くの売り場獲得への取り組みを強化しました。加えて、コカ・コーラブランドにおいては、「コカ・コーラ」、「コカ・コーラ ゼロ」、「コカ・コーラ ゼロフリー」の3カラーの販売強化のために、店頭での飲み比べサンプリングや、「ゼロリミット プロモーション」、「コカ・コーラTMミュージックプロモーション」などの大型プロモーションを実施しました。また、節電対策として、ピークシフト自動販売機の導入を開始し、昼間の消費電力を大幅に削減するなど、環境に配慮した事業活動を継続しました。しかしながら、例年ほどの天候に恵まれず、3月に入ってもなかなか雪解けが進まなかったことなどから、飲料市場の伸びも前年を下回り、当社としても、販売が伸び悩む結果となりました。

このような市場環境のもと、当社グループはシェア拡大策及び、原価低減を中心とした徹底したコスト削減対策に取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は117億3千万円（前年同期比0.1%減）、営業損失は4億1千7百万円（前年同期は5億2千2百万円の営業損失）、経常損失は4億6百万円（前年同期は4億7千3百万円の経常損失）、四半期純損失は4億7百万円（前年同期は4億9千2百万円の四半期純損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、464億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7千万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品が減少したものの、現金及び預金、有形固定資産が増加したことによるものです。

負債は、90億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億7千2百万円増加いたしました。これは主に買掛金、賞与引当金、設備関係未払金が増加したことによるものです。

純資産は、373億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億1百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月8日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,163	8,010
受取手形及び売掛金	4,245	4,077
商品及び製品	4,406	3,874
原材料及び貯蔵品	313	447
繰延税金資産	311	305
その他	1,737	1,763
貸倒引当金	△19	△17
流動資産合計	18,158	18,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,200	7,089
機械装置及び運搬具(純額)	5,355	5,310
販売機器(純額)	4,171	4,057
土地	6,049	6,049
建設仮勘定	249	385
その他(純額)	1,000	1,311
有形固定資産合計	24,027	24,205
無形固定資産		
ソフトウェア	524	479
その他	22	22
無形固定資産合計	547	501
投資その他の資産		
投資有価証券	442	494
長期貸付金	349	350
繰延税金資産	25	21
前払年金費用	2,112	2,011
その他	410	399
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	3,314	3,250
固定資産合計	27,889	27,956
資産合計	46,047	46,417

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,555	2,895
未払金	1,696	1,877
未払法人税等	230	35
賞与引当金	—	241
設備関係未払金	125	415
その他	1,827	1,693
流動負債合計	6,436	7,158
固定負債		
繰延税金負債	794	766
資産除去債務	100	99
退職給付引当金	62	51
その他	688	977
固定負債合計	1,646	1,895
負債合計	8,082	9,054
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	4,924	4,924
利益剰余金	30,981	30,355
自己株式	△900	△901
株主資本合計	37,940	37,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	49
その他の包括利益累計額合計	24	49
純資産合計	37,965	37,363
負債純資産合計	46,047	46,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	11,747	11,730
売上原価	7,736	7,796
売上総利益	4,011	3,933
販売費及び一般管理費	4,533	4,350
営業損失(△)	△522	△417
営業外収益		
受取利息	4	2
受取賃貸料	6	5
その他	51	17
営業外収益合計	61	25
営業外費用		
固定資産除却損	4	5
寄付金	3	4
その他	5	4
営業外費用合計	12	14
経常損失(△)	△473	△406
特別利益		
固定資産売却益	0	1
その他	0	—
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除売却損	70	1
その他	0	0
特別損失合計	71	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△544	△406
法人税、住民税及び事業税	35	31
法人税等調整額	△87	△30
法人税等合計	△52	0
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△492	△407
四半期純損失(△)	△492	△407

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△492	△407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	25
その他の包括利益合計	4	25
四半期包括利益	△487	△382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△487	△382
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループの事業は、北海道を主な販売地域とする清涼飲料の製造・販売並びにこれらに付帯する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。